

江戸図 デジタルアーカイブ調査

栗原智久*

目次

はじめに

凡例

1. 国立国会図書館デジタルコレクション 古典籍資料（貴重書等）
2. 東京都立図書館 TOKYOアーカイブ
3. 東京国立博物館 情報アーカイブ
4. 国立公文書館デジタルアーカイブ
5. 国際日本文化研究センター 所蔵地図データベース
6. 筑波大学附属図書館 貴重書コレクション（電子化リスト）
7. 早稲田大学図書館 古典籍総合データベース

おわりに

キーワード 江戸図 切絵図 デジタルアーカイブ オンライン インターネット
スワイプ スクロール ピンチアウト ピンチイン タップ

はじめに

デジタルアーカイブとは、博物館・図書館・文書館あるいは大学等で所蔵する資料をデジタル画像化・映像化することによって、利用・保存等の用に供することのできるかたちにしたものである。デジタルデータゆえ、（オンライン）端末等で閲覧可能となり、Webへの公開によりインターネットで閲覧可能となる。対象となる資料には、立体物もさることながら平面物も考えられる。

デジタルアーカイブはいろいろな効用を生み出している。例えば、古く傷んだ貴重な資料にダメージを与えることなく様々な角度からこれらを見ることができるといった利便性、また所蔵先に出向いて閲覧申請等せずともパソコンの前に居ながらにしてこれらを見ることができるといったユビキタスへの貢献、等々である。

一方で気をつけなければならないのは、これらのデジタルアーカイブは、当たり前のことであるが、実物ではないということである。さわることによってはじめてわかる質感、場合によっては「におい」といった資料の持つ微細な感覚は、今のところ実物でなければ到底感じ取ることはできない。また、ときに色彩について、デジタルアーカイブには発色等の点で実物とはちがったイメージを与えられるおそ

*東京都江戸東京博物館司書

れがある。デジタル画像・映像でみたものを実物でみたときに、「こんなにぼんやりしていたか」「こんなに小さかったのか」といった印象を持つというのはよくあることである。

その点、美術資料とは一線を画する古地図や古文書といった平面資料のデジタル化は、ひとつにそれらの文字や記号等を読み取る、確認することを目的とする利用を考えたとき、合理的であるといえる。とくに古地図については、デジタルアーカイブで代用することにより、閲覧するたびにひろげたりたたんだりすることによって生じるかもしれない折り目の破れや擦れ、汚損といったリスクを回避できる。このことは江戸時代（1600～1800年代）の、江戸エリアの古地図についても同様である。

江戸の古地図は首都図・主要都市図として、時代時代で、多種多様なかたちで発行されている。総じて“江戸図”とあらわされることが多い¹⁾。江戸図は“大半は折りたたみの大絵図であり、これを見るためには少なくとも、六畳または八畳の部屋が必要で、部屋一面にひろげて見なくてはならない。また、見る者は、自分の軀を図の東西南北に移動して、ぐるぐる回って見なければならぬという不便なことになる”といった代物である²⁾。また、1700年代後半から複数の板元で発行されている区分図としての“切絵図”——“切絵図という名称が、いつ頃から使われているかは明らかではない。元来、大きな図を何枚かに切った図という程度のものであったと思われる”というが³⁾——これらも江戸図である。

閲覧の用に供するため、江戸図を加工して本のかたちに（ページごとに区分）して、例えば人文社や中央公論美術出版などから出版された集成本があるが、近年では江戸図と現代地図を比較対照するかたちで主にムック形態で編まれた本も多数出版されている⁴⁾。江戸東京博物館図書室で所蔵するこれらの関連本を、請求記号・資料番号とともに以下にあげておく。

【表1】

書名	発行所	発行年	請求記号	資料番号
江戸東京大地図	平凡社	1993	2913/L678/093	93500671
嘉永・慶応 江戸切絵図	人文社	1995	2910/211/1	95500662
江戸から東京へ 明治の東京	人文社	1996	2910/211/4	97500379
江戸・関東の城下町（太陽コレクション）	平凡社	1998		98604327
図説大江戸ウォーク・マガジン	新人物往来社	2000	2136/646/000	03601817
切絵図・現代図で歩く 江戸東京散歩	人文社	2002	2913/L1069/002	06602037
江戸切絵図散策	新人物往来社	2002	2913/1075/002	06602034
古地図で江戸さんぽ	淡交社	2003	2913/1012/003	03605089
もち歩き 江戸東京散歩	人文社	2003	2913/1042/003	05600144
どんな町？ どう変わった？ 江戸東京古地図	幻冬舎	2004	2136/660/004	04601469
東京時代MAP 大江戸編	光村推古書院	2005	2136/718/005	07600091
江戸の古地図で東京を歩く本	河出書房新社	2008	2136/812/008	10600307
江戸切絵図 今昔散歩	新人物往来社	2009	2913/1128/009	10600719
ぶらり江戸めぐり	毎日新聞社	2010	2913/1146/010	11600076

嘉永・慶応 新・江戸切絵図	人文社	2010	2913/1152/010	11600167
ぶらっと寄り道 江戸歩き	PHP研究所	2010	2913/1155/010	11600219
浮世絵と古地図でめぐる江戸名所散歩	JTBパブリッシング	2011	2913/1220/011	12600335
大江戸今昔マップ	新人物往来社	2011	2913/1226/011	12600494
古地図で歩く 江戸・東京歴史探訪ガイド	メイツ出版	2011	2913/1228/011	12600506
古地図で歩く 江戸城・大名屋敷 (別冊太陽)	平凡社	2011		10500600
古地図で楽しむ お江戸散歩帖	三オブックス	2012	2136/874/012	13600512
大江戸幕末今昔マップ	新人物往来社	2012	2913/1254/012	13600505
究極版江戸古地図ガイド	徳間書店	2013	2136/890/013	14600042
古地図で読み解く 江戸東京地形の謎	二見書房	2013	2913/1297/013	14600126
東京の歴史地図帳	宝島社	2014	2913/1312/014	15600128

さて、デジタルアーカイブによる代用のことと言えば、江戸図の中にはすでに所蔵機関ごとにデジタル化公開されていて、パソコンやタブレット端末、またスマートフォンの画面上で操ることができるようになっているものがあるのである。閲覧部分の移動や拡大・縮小が自由自在、タッチパネル式の画面ならスワイプ（画面を親指などでふれてスクロールさせる）、ピンチアウト（画面を親指と人さし指でふれて二本の指をすべらせてひろげるように操作してその部分を拡大させる）、ピンチイン（ピンチアウトとは逆の操作で縮小させる）、タップ（画面を指先で叩いてその部分を拡大させる）が可能なものもある。豊何豊もの大きさの資料の周囲をぐるぐる回って場合によっては拡大鏡などで文字や記号を読み取る、あるいは折りたたまれた中の一部分だけをひろげてみるという実物に比して、例えば掌の上でもそれを確認することができるデジタルアーカイブは画期的というほかはない。

本稿では有料・会員制のものは除いて、いつでもどこでも誰でもインターネットを使ってデジタル画像で閲覧できる江戸図を、所蔵機関ごとにそのデータベースから調査する。ただし、文字や記号を読み取る、確認することを目的とする利用を考えたとき、そこは画像拡大できることが必要となる。最低限このことを条件として、利用できるデータベースとそのデータ（資料名・作者等・出版者・発行年・大きさ）を掲げる⁵⁾。

凡例

所蔵機関ごとのデータベース調査と、その結果をまとめるに際し、以下すべてに共通する方針とした。

1. 原則として各データベースの表記に基づいた。例えば「大きさ」はmm表記、cm表記がある。また、題（内題）が書かれて（刷られて）いない地図の「資料名」も各データベースの表記に基づいた⁶⁾。
2. 発行された年順に配列した。
3. 切絵図もエリアごとではなく、発行された年順に配列した。
4. 切絵図の改正版（改）・再刻版（再）は、その年を「発行年」とした。
5. 元年は1年と表記した。
6. 切絵図の四大板元は吉文字屋板（吉文字屋次郎兵衛）・近江屋板（近吾堂 近江屋吾平）・尾張屋板（金鱗堂 尾張屋清七）・平野屋板（平野屋平助）であるが、「出版者」には資料に書かれて（刷られて）いるまま表記した。
7. データであいまいなところは [] で括った。
8. 基本的に漢字の旧字体は新字体に改めた。
9. 資料とデータを照合してわかった誤字脱字等は改めた。

1. 国立国会図書館デジタルコレクション 古典籍資料（貴重書等）



国立国会図書館TOPから「国立国会図書館デジタルコレクション」に入り、「古典籍」を選ぶと、「古典籍資料（貴重書等）」に入る。そこから「絵図のタイトル一覧へ」を選び、「出版年」から検索する⁷⁾。

【表2】

発行年	資料名	作者等	出版者	大きさ
[1632 (寛永9)]	武州豊嶋郡江戸庄図			94.3×126.2
1653 (承応2)	武州古改江戸之図 写			61.9×93.4
1666 (寛文6)	[江戸図寛文六年刊]		河野角之丞	53.1×73.6
1670 (寛文10)	新板江戸大絵図	遠近道印	経師屋加兵衛	155.2×161.0
1671 (寛文11)	新板江戸外絵図 [深川 本所 浅草]	遠近道印	経師屋加兵衛	100.1×195.9
1671 (寛文11)	新板江戸外絵図 [浅草 下谷 上野 谷中 湯島 本郷 小石川 駒込 染井迄]	遠近道印	経師屋加兵衛	127.4×162.0
1672 (寛文12)	新板江戸外絵図 [小日向 牛込 一 谷 四谷 高田 大久保 内藤新宿迄]	遠近道印	経師屋加兵衛	136.5×135.5
1673 (寛文13)	新板江戸外絵図 [赤坂 麻布 芝筋 渋谷 青山 三田]	遠近道印	経師屋加兵衛	148.6×162.0
1675 (延宝3)	延宝三年江戸全図		林氏吉永	124.5×138.0
1676 (延宝4)	新板江戸大絵図絵入		表紙屋市郎兵衛	124.2×140.1
1681 (延宝9)	増補江戸大絵図絵入		表紙屋市良兵衛	127.4×145.8
1682 (天和2)	増補江戸大絵図絵入		表紙屋市良兵衛	128.5×142.5
1683 (天和3)	[増補江戸大絵図亥正月改御紋絵入]		林氏吉永	130.0×150.3
1684 (天和4)	[新改御江戸大絵図]		林氏吉永	124.3×149.5
1684 (貞享1)	絵入江戸大絵図		表紙屋市郎兵衛	140.1×142.4
1687 (貞享4)	絵入江戸大絵図		表紙屋市郎兵衛	141.1×143.0
	[元禄江戸大絵図]	温清軒	須原茂兵衛	135.7×177.2
1689 (元禄2)	江戸図鑑綱目 坤	石川氏俊之	相模屋太兵衛	128.7×138.0
[1692 (元禄5)]	[新板江戸大絵図]		山形屋七兵衛	92.0×109.5
1697 (元禄10)	分間江戸図	[遠近道印]	[板木屋七郎兵衛]	119.1×129.6
1699 (元禄12)	[江戸大絵図]	遠近道印	板屋弥兵衛	166.0×189.4
1700 (元禄13)	[分間御江戸図]	遠近道印	板木屋七郎兵衛	119.5×130.6
1701 (元禄14)	[江戸絵図]		[貝府屋]	58.8×89.5
	分間江戸大絵図		須原茂兵衛	129.9×156.5
[1707 (宝永4)]	江戸全図	温清軒	須原茂兵衛	137.3×177.1
[1707 (宝永4)]	元禄江戸大絵図	温清軒	須原茂兵衛	138.0×180.6
	[分道本所大絵図]		[須藤権兵衛]	69.7×101.9
1712 (正徳2)	分間江戸大絵図	石川流宣	萬屋清兵衛	127.3×133.8
1712 (正徳2)	[分道江戸大絵図 乾]	石川流宣	山口屋須藤権兵衛	105.1×168.3
1713 (正徳3)	分間江戸大絵図	石川流仙	萬屋清兵衛	127.8×135.3
1714 (正徳4)	[江戸図正徳四年]	石川流仙	萬屋清兵衛	126.3×135.3
1714 (正徳4)	分間江戸大絵図	石川流仙	萬屋清兵衛	120.9×136.2
1715 (正徳5)	分間江戸大絵図	石川流仙	萬屋清兵衛	119.5×126.0

	[江戸絵図]		伊賀屋	59.0×116.0
	[分間江戸大絵図]	温清軒	須原茂兵衛	134.7×177.4
1717 (享保2)	分間江戸大絵図	石川流仙	萬屋清兵衛	121.7×136.0
1717 (享保2)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	138.2×177.4
1718 (享保3)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	129.4×174.8
1721 (享保6)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	130.2×175.4
1721 (享保6)	分道江戸大絵図	石川流宣	山口屋須藤權兵衛	101.0×160.3
1722 (享保7)	新板江戸大絵図		見須屋	136.3×138.4
1722 (享保7)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	132.0×175.0
1723 (享保8)	分道江戸大絵図	石川流宣	山口屋須藤權兵衛	102.7×164.2
1724 (享保9)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	131.0×175.0
1725 (享保10)	享保御江戸図		見須屋	136.6×139.4
1725 (享保10)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	132.2×175.0
1729 (享保14)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	130.8×175.1
1730 (享保15)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	131.9×175.8
1731 (享保16)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	135.6×174.8
1732 (享保17)	分道江戸大絵図	石川流宣	平野屋善六	105.4×163.0
1740 (元文5)	[分間江戸大絵図]		須原治右衛門	136.2×175.9
1746 (延享3)	[分間江戸大絵図]		須原茂兵衛	133.4×175.4
1748 (延享5)	新板江戸分間絵図	藍染北居沾涼	藤木久市	60.7×89.1
1748 (延享5)	分間延享江戸大絵図	石河流宣 奥村玉華子	萬屋清兵衛 山口屋与兵衛	96.3×129.6
	[分間江戸図鑑]		吉文字屋次郎兵衛	44.6×61.7
1755 (宝暦5)	番町絵図	狐阡瀬貞雄 鼈峰依為質	美濃屋平七 吉文字屋次郎兵衛	55×72
1759 (宝暦9)	永田町絵図	狐阡瀬貞雄	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	55×72
1763 (宝暦13)	分間江戸大絵図	佐脇庄兵衛	須原屋茂兵衛	127.3×171.7
1772 (明和9)	分間江戸大絵図	金丸彦五郎	須原屋茂兵衛	167.5×199.5
1775 (安永4)	本所深川細見図	南美原應子感	出雲寺和泉掾	74×102
1792 (寛政4)	分間江戸大絵図	金丸彦五郎	須原屋茂兵衛	165.8×203.1
1803 (享和3)	分間江戸大絵図 完	金丸彦五郎	須原屋茂兵衛	163.2×196.6
1806 (文化3)	分間江戸大絵図	金丸彦五郎	須原屋茂兵衛	167.7×197.3
1813 (文化10)	江戸之図		文刻堂西村源六 文寿堂丸屋文右衛門	72.5×74.7
1830 (文政13) 改	東都近郊図	仲田惟善		60.5×75.6
1833 (天保4)	分間江戸大絵図	金丸彦五郎	須原屋茂兵衛	165.0×195.7
1833 (天保4)	文政改正御江戸大絵図		須原屋茂兵衛	87.8×105.2

1837 (天保8)	分間江戸大絵図	金丸彦五郎	須原茂兵衛	166.7×196.8
1838 (天保9)	天保改正御江戸大絵図		須原茂兵衛	86.6×104.1
1845 (弘化2)	[江戸近郊図]	高木保継 衡齋生田権	高木善次郎 本屋友次郎	69×93
1845 (弘化2)	弘化改正御江戸大絵図		須原屋茂兵衛	86.9×104.8
1846 (弘化3)	番町絵図		[近江屋吾平]	48×65
1846 (弘化3)	分間江戸大絵図	金丸彦五郎	須原屋茂兵衛	166.7×196.2
1846 (弘化3) 改	天保改正御江戸大絵図	高井蘭山	出雲寺万次郎 岡田屋嘉七	121.0×133.6
1847 (弘化4)	長禄江戸図	太田時利	米田万右衛門	72.0×76.4
1848 (嘉永1) 改	嘉永御江戸絵図	高柴三雄	小林新兵衛 山城屋佐兵衛 山城屋平助	72.3×100.2
1849 (嘉永2)	大名小路神田橋内桜田之図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1849 (嘉永2) 改	増補改正築地八丁堀日本橋南之図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
[1850 (嘉永3)]	増補改正番町絵図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1850 (嘉永3)	増補改正麹町永田町外桜田絵図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1850 (嘉永3)	増補改正飯田町駿河台小川町絵図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1850 (嘉永3)	増補改正神田浜町日本橋北之図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1850 (嘉永3)	増補改正芝口南西久保愛宕下之図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1850 (嘉永3)	芝三田二本榎高輪辺絵図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1850 (嘉永3)	増補改正今井谷六本木赤坂絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	50×54
1850 (嘉永3)	増補改正千駄ヶ谷鯉ヶ橋四ツ谷絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	50×54
1851 (嘉永4)	東都麻布之絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1851 (嘉永4)	市ヶ谷牛込絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1851 (嘉永4)	東都下谷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1851 (嘉永4)	青山長者丸辺之図	村上吾雄	近吾堂	45×63
1852 (嘉永5)	礪川牛込小日向絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	50×54
1852 (嘉永5)	嘉永新鑄本所絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1852 (嘉永5)	本所深川絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1853 (嘉永6)	東都青山絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	50×54
1853 (嘉永6)	嘉永新鑄雜司ヶ谷音羽絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	50×54
1853 (嘉永6)	小石川谷中本郷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1853 (嘉永6)	改正新刻今戸箕輪浅草絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1853 (嘉永6)	東都浅草絵図	井山能知	尾張屋清七	50×54
1853 (嘉永6)	宝永御江戸絵図	喜多川草鳥	蔦屋吉蔵	70.4×96.8
1854 (嘉永7)	白金絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1854 (嘉永7)	牛込市谷大久保絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	50×54

1854 (嘉永7)	染井王子巢鴨辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1854 (嘉永7)	東都駒込辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1854 (嘉永7)	染井王子巢鴨辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50×54
1856 (安政3)	根岸谷中日暮里豊島辺図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1856 (安政3)	安政新刻隅田川向嶋絵図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1856 (安政3) 改再	万宝御江戸絵図	高柴三雄	大和屋万助	71.0×96.9
1857 (安政4) 改	東都青山絵図		金鱗堂尾張屋清七	50×54
1857 (安政4) 改	分間懷宝御江戸絵図		須原屋茂兵衛	64.8×89.6
1858 (安政5) 改	安政改正御江戸大絵図	高井蘭山	出雲寺万次郎 岡田屋嘉七	121.5×133.8
1860 (万延1) 改	増補改正麴町永田町外桜田絵図	景山致恭	尾張屋清七	50×54
1862 (文久2) 改再	万世御江戸絵図		山城屋政吉 藤屋吉藏 萬屋庄助	70.5×88.7
1862 (文久2) 改再	内藤新宿千駄ヶ谷辺図		金鱗堂尾張屋清七	50×54
1864 (元治1) 改	増補改正千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ツ谷絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	50×54
1867 (慶応3) 改	[慶応改正御江戸大絵図]	高井蘭山	出雲寺万次郎 岡田屋嘉七	121.9×133.7
1867 (慶応3) 改再	万寿御江戸絵図		菊屋幸三郎 大橋堂小田原屋弥七	72.7×100.2

2. 東京都立図書館 TOKYOアーカイブ



東京都立図書館TOPから「TOKYOアーカイブ」に入り、カテゴリの中から「江戸図」を選ぶ。詳細検索画面から検索する⁸⁾。

【表3】

発行年	資料名	作者等	出版者	大きさ
[1607 (慶長12)]	慶長江戸絵図 写			806×817
1632 (寛永9)	武州豊嶋郡江戸庄図 写			845×1160
1653 (承応2)	武州古改江戸之図 写	斎藤莞斎		578×895
1657 (明暦3)	新添江戸之図		太郎右衛門	
1670 (寛文10)	新板江戸大絵図	遠近道印	経師屋加兵衛	1560×1635
1671 (寛文11)	新板江戸絵図 [浅草 下谷 上野 谷中 湯島 本郷 小石川 駒込 染井迄]	遠近道印	経師屋加兵衛	1190×1480
1672 (寛文12)	新板江戸絵図 [小日向 牛込 一谷 四谷 高田 大久保 内藤宿迄]	遠近道印	経師屋加兵衛	1365×1337
1673 (寛文13)	新板江戸絵図 [赤坂 麻布 芝筋 渋谷 青山 三田]	遠近道印	経師屋加兵衛	1470×1617
1680 (延宝8)	延宝江戸絵図		大和屋	482×689
1713 (正徳3)	江戸図 [本所 深川]			690×1030
1755 (宝暦5)	番町絵図	狐阡瀬貞雄 鼈峰依為質	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	450×643
1759 (宝暦9)	永田町絵図	狐阡瀬貞雄	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	440×625
1764 (明和1)	小川町絵図	鼈峰依為質	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	440×625
1766 (明和3)	芝愛宕下絵図	狐阡瀬貞雄	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	425×599
1767 (明和4)	下谷浅草絵図	吉田如流 狐阡瀬貞雄	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	460×640
1770 (明和7)	本郷谷中小石川丸山絵図	米山鼎峨	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	437×615
1770 (明和7)	神田浜町日本橋北図	狐阡瀬貞雄 梅道川伯豊	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	434×626
1775 (安永4)	築地八町堀日本橋南絵図	米山鼎峨	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	410×585
[1824 (文政7)]	武江略図			310×400
1848 (嘉永1)	分色要覧図	半兵衛	和泉屋半兵衛 出雲寺満次郎 須原屋茂兵衛	440×607
1849 (嘉永2) 改	[御大名小路辰之口辺図]	高柴三雄	近吾堂	406×558
1849 (嘉永2)	大名小路神田橋内内桜田之図	景山致恭	尾張屋清七	460×510
1849 (嘉永2)	谷中本郷駒込小石川辺絵図	高柴三雄	近吾堂	418×577
1849 (嘉永2) 改	麻布広尾辺絵図	高柴三雄	近吾堂	431×603
1849 (嘉永2) 再改	永田町絵図	高柴三雄	近吾堂	413×592
1849 (嘉永2) 再改	芝愛宕下西ノ久保辺絵図	高柴三雄	近江屋吾平	441×629
1849 (嘉永2) 再改	駿河台小川町図	高柴三雄	近吾堂	422×600

1849 (嘉永2) 改	四ッ谷千駄谷内藤新宿辺絵図	高柴三雄	近吾堂	450×634
1849 (嘉永2) 改	小日向小石川牛込北辺絵図	高柴三雄	近吾堂	445×630
1850 (嘉永3)	増補改正今井谷六本木赤坂絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	457×505
1850 (嘉永3)	増補改正番町絵図	景山致恭	尾張屋清七	458×528
1850 (嘉永3)	増補改正芝口南西久保愛宕下之図	景山致恭	尾張屋清七	458×498
1850 (嘉永3)	増補改正飯田町駿河台小川町絵図	景山致恭	尾張屋清七	348×688
1850 (嘉永3)	増補改正麴町永田町外桜田絵図	景山致恭	尾張屋清七	458×515
1850 (嘉永3) 改	改正深川之内小名木ヨリ南之方一円		近吾堂	446×628
1850 (嘉永3) 改	浅草鳥越堀田原辺絵図	村上吾雄	近江屋吾平	430×605
1850 (嘉永3)	芝三田二本榎高輪辺絵図	景山致恭	尾張屋清七	347×690
1851 (嘉永4) 改	江戸御見附略図			307×405
1851 (嘉永4)	大久保戸山高田辺之図	村上吾雄	近吾堂	450×636
1851 (嘉永4)	東都下谷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	458×883
1851 (嘉永4)	東都麻布之絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	460×497
1851 (嘉永4)	渋谷宮益金王辺図	村上吾雄	近吾堂	447×639
1851 (嘉永4)	青山長者丸辺之図	村上吾雄	近吾堂	430×606
1851 (嘉永4)	音羽目白雑司ヶ谷辺絵図	村上吾雄	近吾堂	432×603
1851 (嘉永4) 改	本所猿江亀戸村辺絵図	村上吾雄	近吾堂	424×600
1851 (嘉永4) 改	番町絵図	村上吾雄	近吾堂	445×632
1851 (嘉永4) 再	牛込市ヶ谷御門外原町辺絵図	村上吾雄	近吾堂	426×605
1851 (嘉永4) 改	内藤新宿新屋敷辺之図	村上吾雄	近吾堂	444×631
1851 (嘉永4) 改	北本所中之郷石原辺之絵図	村上吾雄	近吾堂	429×599
1851 (嘉永4) 改	南本所堅川辺之地図	村上吾雄	近吾堂	447×634
1852 (嘉永5)	上水北小日向小石川辺絵図	村上吾雄 玉香園主人	近吾堂	444×625
1852 (嘉永5)	嘉永新鑄本所絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	686×503
1852 (嘉永5) 改	小石川辺図	村上吾雄 玉香園主人	近吾堂	445×627
1852 (嘉永5)	巢鴨染井王子辺図	村上吾雄 玉香園	近吾堂	418×593
1852 (嘉永5)	白山駒込辺之絵図	村上吾雄 玉香園主人	近吾堂	413×589
1852 (嘉永5)	礪川牛込小日向絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	332×687
1852 (嘉永5)	駒込巢鴨辺之絵図	村上吾雄 玉香園主人	近吾堂	418×601
[1852 (嘉永5)]	大名小路内桜田神田橋内京橋南北図		平野屋平助	470×496
1853 (嘉永6) 再	上野下谷辺絵図	玉香園	近吾堂近江屋五平	413×588
1853 (嘉永6) 改	京橋南芝口橋築地鉄炮洲辺絵図	玉香園主人	近吾堂近江屋五平	426×600
1853 (嘉永6) 再	外神田下谷辺絵図	玉香園主人	近吾堂近江屋五平	420×602

1853 (嘉永6)	東都浅草絵図	井山能知	尾張屋清七	450×505
1853 (嘉永6) 改	鎧之渡柳原両国箱崎辺絵図	玉香園主人	近吾堂近江屋五平	431×607
[1853 (嘉永6)]	日本橋南北浜町八町堀辺図		平野屋平助	470×493
[1853 (嘉永6)]	[番町麴町永田町外桜田辺]		平野屋平助	470×497
1854 (嘉永7) 改	日本橋北内神田辺絵図	玉香園主人	近吾堂近江屋五平	427×596
1854 (嘉永7) 改	日本橋南京橋八丁堀壺岸島辺絵図	玉香園主人	近吾堂近江屋五平	425×610
1854 (嘉永7)	東都小石川絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	448×505
1854 (嘉永7)	東都駒込辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	461×496
1854 (嘉永7)	染井王子巢鴨辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	450×498
1854 (嘉永7)	牛込市谷大久保絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	455×495
1854 (嘉永7)	白金絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	455×500
1854 (嘉永7) 改	赤坂今井辺絵図	玉香園主人	近吾堂近江屋五平	448×632
1855 (安政2) 改	品川白金目黒辺之絵図	玉香園主人	近吾堂近江屋五平	424×600
1855 (安政2) 改	本所深川絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	700×510
[1855 (安政2)]	芝金杉三田白金辺之絵図	玉香園主人	近吾堂	417×590
1856 (安政3)	安政新刻隅田川向島絵図	景山致恭	尾張屋清七	502×455
1856 (安政3)	根岸谷中日暮里豊島辺図	景山致恭	尾張屋清七	458×493
1857 (安政4) 改	嘉永新鐫雜司ヶ谷音羽絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	462×500
1857 (安政4) 改	小石川谷中本郷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	462×494
1857 (安政4) 改	市ヶ谷牛込絵図		尾張屋清七	472×508
1857 (安政4) 改	東都青山絵図		金鱗堂尾張屋清七	472×500
1857 (安政4) 改	東都駒込辺絵図		尾張屋清七	460×495
1857 (安政4) 改	牛込市谷大久保絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	458×498
1857 (安政4) 改	目黒白金図	戸松昌訓	尾張屋清七	450×501
[1857 (安政4)] 改	東都小石川絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	450×507
1858 (安政5) 改	本所深川絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	697×508
1859 (安政6) 再	日本橋北内神田両国浜町明細絵図	福住清志知	金鱗堂尾張屋清七	476×678
1860 (安政7) 改	大名小路神田橋内内桜田之図	景山致恭	尾張屋清七	460×514
1860 (万延1) 改	礪川牛込小日向絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	333×692
1860 (万延1) 改	築地八町堀日本橋南絵図	景山致恭	尾張屋清七	459×495
1861 (文久1) 改	東都浅草絵図	井山能知	尾張屋清七	450×504
1861 (文久1) 改	東都麻布之絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	460×500
1861 (文久1) 改	芝三田二本榎高輪辺絵図	景山致恭	尾張屋清七	347×690
1861 (文久1) 改再	万延改正新鐫京橋南築地鉄炮洲絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	455×485
1861 (万延2) 改	増補改正今井谷六本木赤坂絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	460×512
1861 (万延2) 改	増補改正芝口南西久保愛宕下之図	景山致恭	尾張屋清七	459×497

1861 (万延2) 改	小石川谷中本郷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	333×692
1862 (文久2) 改	本所深川絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	700×510
1862 (文久2) 改	東都下谷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	457×876
1862 (文久2) 改再	内藤新宿千駄ヶ谷辺図		金鱗堂尾張屋清七	460×484
1863 (文久3) 改	嘉永新鐫本所絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	688×508
1863 (文久3) 改	増補改正千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ツ谷絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	464×493
1863 (文久3) 再	文久再鐫八町堀霊岸島日本橋南之絵図		金鱗堂尾張屋清七	464×499
1863 (文久3) 改	増補改正飯田町駿河台小川町絵図		尾張屋清七	347×683
1863 (文久3) 改	大名小路神田橋内内桜田之図	景山致恭	尾張屋清七	460×515
1864 (元治1) 改	安政再版東都番町大絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	460×686
1864 (元治1) 改	増補改正千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ツ谷絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	465×489
1864 (元治1) 改	増補改正麴町永田町外桜田絵図	景山致恭	尾張屋清七	458×513
1865 (元治2) 再	元治再刻今井谷市兵衛町赤坂全図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	457×505
1865 (慶応1) 改再	御曲輪内大名小路絵図		金鱗堂尾張屋清七	457×496
1865 (慶応1) 再	元治再刻飯田町駿河台小川町絵図		金鱗堂尾張屋清七	347×696

3. 東京国立博物館 情報アーカイブ



東京国立博物館 情報アーカイブTOPから「データベース分類別検索」に進む。そこから「古地図を探す」の「地域・分野から探す」を選び、「都市図」の「江戸・東京」からみる⁹⁾。

【表4】

発行年	資料名	作者等	出版者	大きさ
1775 (安永4)	築地八町堀日本橋南絵図	米山鼎峨	吉文字屋次郎兵衛 北畑氏	46.3×63.4
1840 (天保11)	分間懐宝御江戸絵図		須原屋茂兵衛	76.9×89.4
1843 (天保14) 再	江戸御見附略図		[森屋治兵衛]	31.9×41
1848 (嘉永1) 改	芝愛宕下西ノ久保辺絵図	高柴三雄	近五堂	44.8×64.3
1848 (弘化5) 改	駿河台小川町図		麴拾近五堂	45.2×64.3
1848 (弘化5) 再改	番町絵図		麴拾近五堂	45.1×64.6
1849 (嘉永2)	[江戸絵図]		藤英堂藤屋吉蔵	68.1×90.5
1849 (嘉永2)	谷中本郷駒込小石川辺絵図	高柴三雄	近吾堂	45×64.4
1849 (嘉永2) 改	[御大名小路辰ノ口辺図]	高柴三雄	近吾堂	44.8×64.5
1849 (嘉永2) 改	本芝高輪白金三田辺之絵図	高柴三雄	近吾堂	45×64
1849 (嘉永2) 改	赤阪今井一ッ木辺之絵図	高柴三雄	近吾堂	44.9×64
1849 (嘉永2) 改	麻布広尾辺絵図	高柴三雄	近吾堂	44.6×64.4
1849 (嘉永2) 改	四ッ谷千駄谷内藤新宿辺絵図	高柴三雄	近吾堂	45.1×64.5
1849 (嘉永2) 改	小日向小石川牛込北辺絵図	高柴三雄	近吾堂	45×64.3
1849 (嘉永2) 改	牛込市ヶ谷御門外原町辺絵図	高柴三雄	近吾堂	45.2×64.5
1849 (嘉永2) 再改	永田町絵図	高柴三雄	近江屋吾平	44.8×64.2
	[嘉永三年二月五日麴町出火延焼図]			23.9×62.6
1850 (嘉永3)	下谷三ノ輪浅草三谷辺之絵図	村上吾雄	近吾堂	45×64.5
1850 (嘉永3) 改	増補改正麴町永田町外桜田絵図	景山致恭	尾張屋清七	49.5×54
1850 (嘉永3) 改	日本橋南柴口橋迄八丁堀霊岸島築地 辺地図	高柴三雄	近江屋吾平	44.7×64.8
1850 (嘉永3) 改	浅草鳥越堀田原辺絵図	村上吾雄	近江屋吾平	44.9×64.2
1850 (嘉永3) 改	改正深川之内小名木川ヨリ南之方一円		近吾堂	44.8×64.1
1850 (嘉永3) 改	上野下谷外神田辺絵図	高柴三雄	近江屋吾平	44.8×64.1
1850 (嘉永3) 改	日本橋北神田辺之絵図		近江屋吾平	44.7×64
1851 (嘉永4)	青山長者丸辺之図	村上吾雄	近吾堂	45×63.8
1851 (嘉永4)	渋谷宮益金王辺図	村上吾雄	近吾堂	45×63.8
1851 (嘉永4)	大久保戸山高田辺之図	村上吾雄	近吾堂	44.5×63.5
1851 (嘉永4)	音羽目白雑司ヶ谷辺絵図	村上吾雄	近吾堂	45×63.7
1851 (嘉永4) 改	内藤新宿新屋敷辺之図	村上吾雄	近吾堂	46.4×63.7
1851 (嘉永4) 改	北本所中之郷石原辺之絵図	村上吾雄	近吾堂	44.8×64.3
1851 (嘉永4) 改	南本所豎川辺之地図	村上吾雄	近吾堂	44.5×64.3
1851 (嘉永4) 改	本所猿江亀戸村辺絵図	村上吾雄	近吾堂	44.6×64.1
1852 (嘉永5)	駒込巢鴨辺之絵図	村上吾雄 玉香園主人	近吾堂	45×54

1852 (嘉永5)	上水北小日向小石川辺絵図	村上吾雄 玉香園主人	近吾堂	44.9×64.3
1852 (嘉永5)	白山駒込辺之絵図	村上吾雄 玉香園主人	近吾堂	45×63.8
1852 (嘉永5)	巢鴨染井王子辺図	村上吾雄	近吾堂	44.9×64.1
1852 (嘉永5) 改	小石川辺図	村上吾雄 玉香園主人	近吾堂	44.8×64.1
1853 (嘉永6)	改正新刻今戸箕輪浅草絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.5×54.5
1854 (嘉永7)	染井王子巢鴨辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.6×54.6
	安政二年大地震江戸焼場所図			49.8×73.5
1855 (安政2) 改	嘉永新鑄本所絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	75.3×54.3
1856 (安政3)	安政新刻隅田川向島絵図	景山致恭	尾張屋清七	49.6×54.4
1857 (安政4) 改	市ヶ谷牛込絵図		尾張屋清七	49.7×54.6
1857 (安政4) 改	東都青山絵図		金鱗堂尾張屋清七	50×54
1857 (安政4) 改	東都下谷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.7×90.8
1857 (安政4) 改	東都駒込辺絵図		尾張屋清七	49.5×53.8
1857 (安政4) 改	牛込市谷大久保絵図		金鱗堂尾張屋清七	49.5×54.4
1857 (安政4) 改	東都小石川絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.5×54.7
1857 (安政4) 改	嘉永新鑄雑司ヶ谷音羽絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	49.5×53.7
1857 (安政4) 改	目黒白金図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.7×53.7
1858 (安政5) 改	本所深川絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	74.5×53.8
1859 (安政6) 再	日本橋北内神田両国浜町明細絵図	福住清志知	金鱗堂尾張屋清七	65×72.5
1860 (安政7) 改	増補改正飯田町駿河台小川町絵図		尾張屋清七	36.3×76.4
1860 (万延1) 改	増補改正麴町永田町外桜田絵図	景山致恭	尾張屋清七	49.5×54
1860 (万延1) 改	築地八町堀日本橋南絵図	景山致恭	尾張屋清七	49.7×53.8
1860 (万延1) 改	増補改正千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ッ谷絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	49.6×54.5
1860 (万延1) 改	礪川牛込小日向絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	36×73.8
1861 (文久1) 改	大名小路神田橋内内桜田之図	景山致恭	尾張屋清七	49.6×53.9
1861 (文久1) 改	安政再版東都番町大絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	49.5×72.7
1861 (文久1) 改	芝三田二本榎高輪辺絵図	景山致恭	尾張屋清七	36×75
1861 (文久1) 改	東都麻布之絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.7×54.1
1861 (文久1) 改	東都浅草絵図	井山能知	尾張屋清七	49.5×54.5
1861 (万延2) 改	増補改正芝口南西久保愛宕下之図	景山致恭	尾張屋清七	49.5×52.5
1861 (万延2) 改	増補改正今井谷六本木赤坂絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	49.7×54.4
1861 (万延2) 改	小石川谷中本郷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.5×54
1862 (文久2)	[江戸絵図]		萬屋庄助	80.4×87.9
1864 (元治1) 改再	萬寿御江戸絵図		菊屋幸三郎 大橋堂小田原屋弥七	71.2×100.6

4. 国立公文書館デジタルアーカイブ



国立公文書館TOPから「国立公文書館デジタルアーカイブ」に入り、カテゴリ別の中の「絵図（江戸時代）」からみる。あるいは地域別の中の「関東」「東京都」からみる¹⁰⁾。

【表5】

発行年	資料名	作者等	出版者	大きさ
[1644（正保1）～1645（正保2）]	[正保年中江戸絵図] 写			201×261
1670（寛文10）	新版江戸大絵図 [麴町 日本橋 京橋 内桜田 芝の一部]	遠近道印	経師屋加兵衛	[139×509]
1671（寛文11）	新版江戸大絵図 [深川 本所 浅草の一部]	遠近道印	経師屋加兵衛	200×100
1671（寛文11）	新版江戸大絵図 [浅草 下谷 上野 谷中 湯島 本郷 小石川 駒込 染井]	遠近道印	経師屋加兵衛	148×118
1672（寛文12）	新版江戸大絵図 [小日向 牛込 市谷 四谷 高田 大久保 内藤新宿]	遠近道印	経師屋加兵衛	140×136
1673（寛文13）	新版江戸大絵図 [赤坂 麻布 芝の一部]	遠近道印	経師屋加兵衛	162×147
[1772（明和9）]	[明和九年江戸目黒行人坂大火之図]		奥村喜兵衛	63×100
1805（文化2）	江戸近郊御場絵図			117×126
1805（文化2）	目黒筋御場絵図			187×255
1805（文化2）	葛西筋御場絵図			126×273

5. 国際日本文化研究センター 所蔵地図データベース



国際日本文化研究センター TOPから「データベース」に入り、日文研データベース一覧（50音順）の公開データベースから「所蔵地図」を選び、さらに「データベース検索画面」を選ぶと、「所蔵地図データベース」に入る。「閲覧する」「検索する」いずれかを選び、「地域別」「東京（都）」からみる¹¹⁾。

【表6】

発行年	資料名	作者等	出版者	大きさ
	[武州豊嶋郡江戸庄図] 複製			84.4×60.2
1657 (明暦3)	新添江戸之図 複製		太郎右衛門	135.1×60.1
1693 (元禄6)	[江戸図正万鑑] 複製		佐藤四郎右衛門	97.2×88.6
1771 (明和8)	[明和江戸図] 複製		須原屋茂兵衛	115.4×85.6
	[天明江戸図] 複製		吉文字屋次郎兵衛	59.8×44.1
1797 (寛政9) 改	[新板江戸安見絵図] 複製		奥村喜兵衛	82.4×59.7
1811 (文化8)	[文化江戸図] 複製		須原屋茂兵衛	89.9×60.1
	[天保江戸図] 複製	奥村喜兵衛 高井蘭山	尚古堂岡田屋嘉七 僊鶴堂鶴屋喜右衛門 甘泉堂和泉屋市兵衛	94.4×77.8
1844 (弘化1)	[東都近郊図]		山崎屋清七 三田屋喜八 角丸屋甚助	111.9×69.4
1847 (弘化4) 改	[弘化江戸図] 複製		西村与八 上州屋重蔵	89.6×60.2
1854 (嘉永7)	染井王子巢鴨辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	52.9×49.3
1855 (安政2) 改	嘉永新鐫本所絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	75.4×52.7

1856 (安政3)	安政新刻隅田川向嶋絵図	景山致恭	尾張屋清七	53.2×49.2
1856 (安政3)	根岸谷中日暮里豊島辺図	景山致恭	尾張屋清七	53.0×49.3
1857 (安政4)	[安政江戸近郊図] 複製	高柴三雄	須原屋茂兵衛 山城屋佐兵衛 小林新兵衛 出雲寺萬次郎 山崎屋清七 岡田屋嘉七 山城屋平助 葛屋吉蔵	91.4×84.7
1857 (安政4) 改	市ヶ谷牛込絵図		尾張屋清七	53.6×49.6
1857 (安政4) 改	増補改正今井谷六本木赤坂絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	53.6×49.4
1857 (安政4) 改	牛込市谷大久保絵図		金鱗堂尾張屋清七	52.8×49.2
1857 (安政4) 改	嘉永新鐫雑司ヶ谷音羽絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	52.8×49.3
1857 (安政4) 改	礪川牛込小日向絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	36.3×72.6
1857 (安政4) 改	小石川谷中本郷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	53.3×49.4
1857 (安政4) 改	芝三田二本榎高輪辺絵図	景山致恭	尾張屋清七	36.0×73.6
1857 (安政4) 改	増補改正千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ッ谷絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	51.8×49.5
1857 (安政4) 改	築地八町堀日本橋南絵図	景山致恭	尾張屋清七	52.3×49.3
1857 (安政4) 改	東都青山絵図		金鱗堂尾張屋清七	52.8×49.4
1857 (安政4) 改	東都浅草絵図	井山能知	尾張屋清七	53.5×49.5
1857 (安政4) 改	東都麻布之絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	52.8×49.2
1857 (安政4) 改	東都小石川絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	53.5×49.3
1857 (安政4) 改	東都駒込辺絵図		尾張屋清七	52.8×49.5
1857 (安政4) 改	東都下谷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.6×89.2
1857 (安政4) 改	目黒白金図	戸松昌訓	尾張屋清七	53.5×49.3
1858 (安政5) 再	安政再版東都番町大絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	71.4×49.4
1858 (安政5) 改	本所深川絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	73.8×52.5
1859 (安政6)	[安政江戸図 (御江戸絵図)] 複製		須原屋茂兵衛	112.7×81.9
1859 (安政6) 再	日本橋北内神田両国浜町明細絵図	福住清志知	金鱗堂尾張屋清七	72.3×64.4
1859 (安政6) 再改	増補改正麴町永田町外桜田絵図	景山致恭	尾張屋清七	53.3×49.2
1860 (安政7) 改	増補改正飯田町駿河台小川町絵図		尾張屋清七	73.0×36.2
1860 (万延1) 改	[万延江戸図] 複製	高井蘭山	出雲寺万次郎 岡田屋嘉七	100.7×90.4
1861 (万延2) 改	増補改正芝口南西久保愛宕下之図	景山致恭	尾張屋清七	52.1×49.8

6. 筑波大学附属図書館 貴重書コレクション (電子化リスト)

筑波大学附属図書館TOPから「古地図」を選び、カテゴリー別の中の「江戸図」からみる¹²⁾。

【表7】

発行年	資料名	作者等	出版者	大きさ
	武州豊島〔嶋〕郡江戸庄図 写			100.4×128.2
	寛永御江戸絵図			88.5×121.0
1676 (延宝4)	新板江戸大絵図		表紙屋市郎兵衛	125.0×136.3
1693 (元禄6)	元禄六年癸酉版江戸古絵図	温清軒	佐藤四郎右衛門	145.6×151.5
1693 (元禄6)	江戸宝鑑之図大全	温清軒	佐藤四郎右衛門	157.9×152.0
1715 (正徳5)	分道江戸大絵図	石川流宣	山口屋須藤權兵衛	104.5×169.5
1718 (享保3)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	133.7×173.0
1721 (享保6)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	131.8×173.0
1732 (享保17)	分間江戸大絵図		須原治右衛門	134.4×175.1
1843 (天保14) 再	天保改正御江戸大絵図	高井蘭山	尚古堂岡田屋嘉七	121.6×134.0
1848 (嘉永1)	永代御江戸絵図		村田屋彦兵衛	70.2×96.0
1849 (嘉永2)	大名小路神田橋内内桜田之図	景山致恭	尾張屋清七	50.0×54.1
1849 (嘉永2) 改	増補改正築地八丁堀日本橋南之図	景山致恭	尾張屋清七	49.9×53.6
1850 (嘉永3)	増補改正今井谷六本木赤坂絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	49.9×54.4
1850 (嘉永3)	芝三田二本榎高輪辺絵図	景山致恭	尾張屋清七	36.1×71.9
1850 (嘉永3)	増補改正飯田町駿河台小川町絵図	景山致恭	尾張屋清七	36.3×72.5
1850 (嘉永3)	増補改正麴町永田町外桜田絵図	景山致恭	尾張屋清七	49.5×52.8
1850 (嘉永3)	増補改正千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ッ谷絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	49.7×54.0
1851 (嘉永4)	東都麻布之絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.7×54.1
1851 (嘉永4)	市ヶ谷牛込絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	48.3×54.2
1851 (嘉永4)	東都下谷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.8×89.9
1852 (嘉永5)	本所深川絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	74.1×53.8
1852 (嘉永5)	嘉永新鑄本所絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	75.4×53.3
1852 (嘉永5) 改	増補改正番町絵図	景山致恭	尾張屋清七	50.0×54.2
1852 (嘉永5) 改	増補改正芝口南西久保愛宕下之図	景山致恭	尾張屋清七	50.0×53.4
1853 (嘉永6)	東都青山絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	49.8×53.8
1853 (嘉永6)	東都浅草絵図	井山能知	尾張屋清七	49.8×53.2
1853 (嘉永6)	改正新刻今戸箕輪浅草絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.8×54.2
1853 (嘉永6)	嘉永新鑄雑司ヶ谷音羽絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	49.6×53.0
1853 (嘉永6)	小石川谷中本郷絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50.0×53.9
1854 (嘉永7)	牛込市谷大久保絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	49.7×52.9
1854 (嘉永7)	東都小石川絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	49.9×53.3
1854 (嘉永7)	東都駒込辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.8×53.5
1854 (嘉永7)	染井王子巢鴨辺絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	49.8×52.6

1854 (嘉永7)	白金絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	50.0×52.2
	安政改正府郷御江戸絵図	高柴三雄	須原屋茂兵衛 山城屋佐兵衛 小林新兵衛 出雲寺萬次郎 山崎屋清七 岡田屋嘉七 山城屋平助 葛屋吉藏	100.0×104.5
1856 (安政3)	安政新刻隅田川向嶋絵図	景山致恭	尾張屋清七	48.8×53.0
1856 (安政3)	根岸谷中日暮里豊島辺図	景山致恭	尾張屋清七	48.7×53.4
1857 (安政4) 改	東都青山絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	48.9×53.2
1857 (安政4) 改	芝三田二本榎高輪辺絵図	景山致恭	尾張屋清七	36.0×72.8
1860 (万延1) 改	礪川牛込小日向絵図	戸松昌訓	金鱗堂尾張屋清七	35.5×72.0
1861 (文久1) 改再	万延改正新鑄京橋南築地鐵炮洲絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	49.5×52.8
1862 (文久2) 改再	内藤新宿千駄ヶ谷辺図		金鱗堂尾張屋清七	49.0×53.3
1862 (文久2) 再	万世御江戸絵図		山城屋政吉 藤屋吉藏 萬屋庄助	70.2×88.1
1863 (文久3) 改	嘉永新鑄本所絵図	戸松昌訓	尾張屋清七	73.8×53.1
	江戸近傍図			58.1×76.1

7. 早稲田大学図書館 古典籍総合データベース

早稲田大学図書館TOPから「古典籍総合データベース」に入り、「江戸図」「切絵図」で検索する¹³⁾。

【表8】

発行年	資料名	作者等	出版者	大きさ
	武州豊嶋郡江戸庄図 複製			91.0×122.5
1653 (承応2)	武州古改江戸之図 写			59×93
1666 (寛文6)	[江戸図]		大経師加兵衛	49×72
1693 (元禄6)	[江戸図]	温清軒	佐藤四郎右衛門	154×151
1849 (嘉永2) 改	[江戸図]	高柴三雄	小林新兵衛 山城屋佐兵衛 山城屋平助	72×99
1849 (嘉永2) 改	[御大名小路辰之口辺図]	高柴三雄	近吾堂	45×64
1851 (嘉永4) 改	南本所竪川辺之地図	村上吾雄	近吾堂	45×64
1853 (嘉永6) 改	京橋南芝口橋築地鉄炮洲辺絵図	玉香園主人	近吾堂近江屋五平	45×63
1861 (文久1) 改再	万延改正新鑄京橋南築地鉄炮洲絵図	景山致恭	金鱗堂尾張屋清七	50×54

おわりに

総じてみるに、1800年代の江戸図、すなわち切絵図が大多数である。ひとつには大絵図に比べて撮影しやすいからという理由があげられようが、これより前の時代の、また量何量もの大きさの大絵図も、撮影技術の進歩等によってこれからどんどんデジタルアーカイブ化されてゆくであろうか。

ともあれ、Webで公開、インターネットで閲覧可能となっている江戸図は便利であり、有用である。実物のもとより、本の形態——紙媒体の出版物ではできなかった諸々のことを可能にする。

問題は、インターネット上から消えてしまえばそれまでであり、ある日突然何らかの理由で閲覧不可にならないとも限らないということである。江戸図に限らず、オンラインデジタルアーカイブのリスクであり、非紙媒体のこれは限界である。

例えば、国立国会図書館ではWebサイトを保存する事業「WARP」を2006年から本格化している¹⁴⁾。同じサイトであっても“定期的にアクセス”して“移り変わりを時系列で保存”するという。閲覧できなくなったものが出てきたとして、そのときにこういった中でみられるであろうか。所蔵機関ごとの撮影方法・画像解像度等の差異は措いて、その安定性は気になるところである。

【註】

- 1) 歴史文化ライブラリー『江戸の地図屋さん』俵元昭・吉川弘文館・2003年・p.2
東京都江戸東京博物館調査報告書第20集『館蔵地図目録 1 江戸の地図』東京都江戸東京博物館・東京都歴史文化財団・2009年・p.1
 - 2) 『古板江戸図集成』古板江戸図集成刊行会・中央公論美術出版・1958年・「刊行のことば」部分
 - 3) 『江戸切絵図集成 第一巻』斎藤直成・中央公論社・1981年・「江戸切絵図の歴史」部分
 - 4) 1800年代後半の切絵図との比較対照が多い。
 - 5) 2015年12月現在。
 - 6) 「資料名」確認には次の本も参照した。
『江戸図の歴史 別冊江戸図総覧』飯田龍一 俵元昭・築地書館・1988年
 - 7) <http://dl.ndl.go.jp/#classic>
 - 8) <http://archive.library.metro.tokyo.jp/da/top>
 - 9) <http://webarchives.tnm.jp/pages/oldmaps/index.html>
 - 10) <https://www.digital.archives.go.jp/>
 - 11) <http://tois.nichibun.ac.jp/chizu/menu.html>
 - 12) <https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/collection/rare>
 - 13) <http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/about.html>
 - 14) インターネット資料収集保存事業 Web Archiving Project の略。国立国会図書館 関西館 電子図書館課 2015年5月発行パンフレットを参照した。
- *データの照合には梅原真千恵氏に助力いただいた。